

8 発足来の災害状況

発生年月日	災害の概要
昭和50年1月22日	引田町国道11号線上において、LPGタンクローリー車が横転し、付近住民30戸130人が避難する。
昭和50年5月18日	津田町において、山崩れが発生し、住宅1棟全壊し200戸が断水・停電となる。
昭和50年8月5日	大内町山中にヘリコプターが墜落・炎上し、乗員4人が死亡する。
昭和51年9月10日	台風17号の豪雨により死傷者21人が発生。県立病院入院患者20名が避難するなど、管内全域の住宅で床上・床下浸水が発生する。
昭和52年2月15日	津田町の踏切内で普通列車と大型貨物自動車衝突・脱線し、乗客等13人が負傷する。
昭和52年4月2日	志度町で林野火災が発生し、48.2ヘクタールを焼失し、4時間後に鎮火する。
昭和53年2月18日	長尾町で霊場めぐりの観光バスが谷底へ転落し、死傷者48人が発生する。
昭和53年2月19日	志度町で林野火災が発生し、21.72ヘクタールを焼失し、11時間後に鎮火する。
昭和55年12月5日	引田町で建物火災が発生し、店舗兼作業場など11棟延べ3,700平方メートルが焼損する。
昭和59年3月12日	志度町で林野火災が発生し、11.44ヘクタールを焼失し、7時間後に鎮火する。
昭和59年5月11日	白鳥町で工場火災が発生し、作業場・倉庫など延べ5,100平方メートルが焼損する。
昭和59年10月14日	引田町で林野火災が発生し、66.4ヘクタールを焼失し、46時間後に鎮火する。

昭 和 60 年 2 月 9 日	志度町で店舗兼作業場が全焼し、延べ1,300平方メートルが焼損する。
昭 和 61 年 2 月 26 日	長尾町で発生した林野火災で1人死亡、31ヘクタールを焼失し、10時間後に鎮火する。
昭 和 61 年 5 月 13 日	引田町で林野火災が発生し、33.5ヘクタールを焼失し、7時間後に鎮火する。
昭 和 62 年 2 月 10 日	引田町で林野火災が発生し、209ヘクタールを焼失し、77時間後に鎮火する。
昭 和 62 年 4 月 24 日	長尾町で林野火災が発生し、34.4ヘクタールを焼失し、26時間後に鎮火する。
平 成 元 年 4 月 18 日	大川町で林野火災が発生し、10.35ヘクタールを焼失し、10時間後に鎮火する。
平 成 5 年 2 月 20 日	志度町で江戸時代から続く旧商屋が全焼し、多くの歴史的資料や文化財等を焼失する。
平 成 6 年 5 月 19 日	志度町の国道11号線で大型貨物自動車とワゴン車が衝突し、死傷者8人が発生する。
平 成 7 年 11 月 4 日	志度町で林野火災が発生し、65ヘクタールを焼失し、72時間後に鎮火する。
平 成 9 年 2 月 22 日	白鳥町で工場火災が発生し、作業場など延べ13,000平方メートルが焼損する。
平 成 9 年 3 月 8 日	白鳥町で林野火災が発生し、480ヘクタールが焼失し、71時間後に鎮火する。
平 成 16 年 8 月 30 日	台風16号による高潮で、沿海の住宅など1,300棟以上で床上・床下浸水が発生し、逃げ遅れ者など6人を救助する。
平 成 16 年 10 月 20 日	台風23号による豪雨により管内各所で土砂災害、河川が氾濫、住宅の浸水害が発生し、19人が死傷、48人を救助する。

平成 17 年 4 月 19 日	高松自動車道下り車線において、大型トラックと普通乗用車2台が衝突する事故が発生し、2名が死亡する。
平成 17 年 11 月 22 日	高松自動車道下り車線において、走行中の4 t トラックが横転し、燃料の軽油約200リットルを漏洩する事故が発生し、1名が負傷する。
平成 23 年 9 月 22 日	東かがわ市引田において、ヘリコプターが不時着し、炎上する事故が発生する。（負傷者なし）
平成 26 年 7 月 7 日	高松自動車道上り車線において、高速バス、2 t トラック及び4 t トラックが衝突する事故が発生し、10名が負傷する。
平成 28 年 5 月 1 日	さぬき市前山 矢筈山山頂付近で、外国人男性がトレッキング中に遍路道から滑落、急斜面で身動きがとれなくなり、香川県防災航空隊と協力し救出する。（負傷なし）
平成 29 年 8 月 24 日	高松自動車道上り車線において、普通乗用車1台、軽乗用車2台が絡む衝突事故で、死傷者8人が発生する。
令和 2 年 10 月 25 日	東かがわ市引田鳴嶽一帯（讃岐山脈）において男性1名が遭難、消防団及び香川県警察と協力し3日後に救出する。（中等症）
令和3年度	令和2年から新型コロナウイルス感染症が世界中で大流行、令和3年度中の救急出場3,852件のうち、感染疑を含む946件の事案が発生した。
令和4年度	前年度に続き、感染力が極めて強い新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）が主流となった第 6 波から第 8 波の影響で救急出場が過去2番目に多い4,303件のうち、感染疑を含む1,208件の事案が発生した。